

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成 24 年 6 月 3 日現在

機関番号：64401

研究種目：研究活動スタート支援

研究期間：2010～2011

課題番号：22810023

研究課題名（和文） 東アフリカ諸国間の交易ネットワークの形成と展開に関する研究

研究課題名（英文） A Study on Formation and Development of Trans-Border Trading in East Africa

研究代表者

小川 さやか（OGAWA SAYAKA）

国立民族学博物館・研究戦略センター・機関研究員

研究者番号：40582656

研究成果の概要（和文）：

本研究は、東アフリカ諸国間の衣料品取引を事例に以下ふたつの解明を通じて、重層的なグローカリゼーションの展開を論じたものである。①先進諸国と新興国による東アフリカの衣料品市場獲得競争と、それに対する東アフリカ諸国間の東アフリカ共同体の推進の実態。②東アフリカの衣料品商人が、民族や宗教、同郷などを基盤とした従来のトランス・ボーダー・トレーダーのネットワーク形成とは異なる仕組みで、東アフリカ諸国を結ぶ交易ネットワークを創出していく「再グローバル化」の実態。

研究成果の概要（英文）：

This study approaches multilayered globalization through analysis of trans-border trading among countries in East Africa. In this study, it became clear that larger trading networks were now being developed, connecting cities in East Africa, among clothing traders in a manner that is detached from the existing relationships based on ethnicity, religions, or home-town regions, after the reformation of the Eastern African Customs Union. The reformation of the Eastern African Customs Union (localization), encouraged by the countries in East Africa against the race to capture the market between advanced countries and developing countries, has allowed end traders to reorganize a global and unique clothing trading network (re-globalization) set on the “localization.”

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2010年度	830,000	249,000	1,079,000
2011年度	840,000	252,000	1,092,000
年度			
年度			
年度			
総計	1,670,000	501,000	2,171,000

研究分野：複合新領域

科研費の分科・細目：地域研究・地域研究

キーワード：東アフリカ、越境取引、衣料品、関税同盟、グローカリゼーション

1. 研究開始当初の背景

アフリカ諸国における衣料品流通は 21 世紀のグローバル経済の地勢図を示す格好の事例である。先進諸国で大量生産・廃棄され

た衣類は、「リサイクル」や「支援」を旗印にアフリカ諸国へ輸出され、巨大な古着市場を形成した。これらの古着はアフリカ諸国の衣類産業に壊滅的な打撃を与えつつ、貧困層

に不可欠なものとして浸透した (cf. Hansen, *Salaula*, 2000)。近年、アフリカ諸国では国内産業保護を理由に古着の輸入規制を求める動きが進展した。しかし古着の規制は密輸等の新たな問題を引き起こしたうえ、中国・東南アジア諸国からの安価で粗悪な新品衣料品が一部の古着に代替するかたちでアフリカ市場を席卷しつつある (cf. 吉田編『アフリカに吹く中国の嵐、アジアの旋風』2007)。2005年に東アフリカ諸国は関税同盟を結成し、古着の大幅な関税の引き上げを実施するなど、古着の規制を強めるとともに、域内産業の保護・活性化を目指すようになったが、域内国間の経済格差の拡大が懸念されている。

このようなアフリカの衣料品市場を舞台とする先進諸国と新興国の市場獲得競争がアフリカ諸国を翻弄する実態は、国際関係や政治経済学の分野で、近年盛んに議論されている (cf. リボリ『あなたのTシャツはどこから来たのか』2007)。しかし、国際的な衣料品市場の末端で衣料品取引を再編しているアフリカ商人のミクロな商行為は看過されてきた。東アフリカ関税同盟 (2010年に共通市場化) により域内の取引が活発化されたことで、域内産品だけでなく、古着やアジア諸国からの新品衣料品をあつかう商人による草の根の越境取引も活発化していると推測される。

2. 研究の目的

研究開始時の本研究の目的は、衣料品流通を事例として、東アフリカ関税同盟結成後の東アフリカ諸国間の取引ネットワークの形成と展開のメカニズムを明らかにすることを通じて、末端商人がグローバルなアフリカ市場獲得競争を受けて創られた「東アフリカ」という「新たなローカル」空間をいかに経済的に利用し、自分たちの生活世界へと再編していくのか、アフリカを舞台に生じている重層的なグローカリゼーションとはどのようなものかを論じることにあった。

3. 研究の方法

本研究では、以下の方法を用いて上記の研究目的を遂行した。

(1) 政策文書の収集・解析と行政官への聞き取り調査により、東アフリカ関税同盟結成後の衣料品貿易をめぐる東アフリカ各国の制度変化を明らかにする。また、中古・新品衣料品貿易に関わる統計資料の収集・分析により、それぞれの衣料品の輸出国の変化や輸入量の推移を明らかにする。

(2) タンザニアの地方都市ムワンザ市を拠点として、ケニアの首都ナイロビ、ウガンダの首都カンパラ、ルワンダの首都キガリ、ブルンジの首都ブジュンブラに向かうタンザ

ニア商人に仕入れや隣国での取引に関わる聞き取り調査と、具体的な越境取引の追跡調査をおこなう。また、ケニアやウガンダ、ルワンダ、ブルンジの商人に対して、仕入れや隣国での取引に関する聞き取り調査をおこなう。

(3) 中国・東南アジア諸国からの新品衣料品の輸入・販売行為の実態について、文献調査をおこなう。また中国に短期渡航し、現地の中国人商人とアフリカ系商人に対して、取引に関する聞き取り調査を実施する。

4. 研究成果

2011年2月～3月と、2011年8月～9月にケニア、ウガンダ、タンザニア、ルワンダ (ブルンジは商人に対する聞き取りのみ) に渡航し、以上の調査を実施した。その結果、以下の点が明らかになった。

(1) 東アフリカ関税同盟は、2010年1月に共通市場化へと移行し、これにより草の根の取引が活発化されたことが示された。共通市場化は、東アフリカ各国内の人びとの自由な移動や労働、財やサービスの移転を保障するものであり、共通市場化が宣言された後には、東アフリカ各都市をむすぶ交通網が整備され、隣国へ商品を仕入れに向かう商人の数が激増した。

(2) 東アフリカ諸国間の主要な取引ルートが明らかになった。東アフリカの衣料品をあつかう零細商人の商業ネットワークにおいては、国内の首座都市との関係よりも、距離的、文化的な近接性をもつ隣国の主要都市のほうが重要であり、現在の東アフリカ諸国間取引の範囲は、植民地期に欧米列強により敷かれた国境とは異なる経済・文化圏を単位としていた。

(3) 各国の経済的、文化的、慣習的な衣料品の嗜好の違いを活かした、東アフリカの各都市をむすぶ循環的な取引ネットワークの形成が明らかになった。東アフリカ諸国間の古着取引では、卸売店や仲卸人から一度に大量に衣料品を買いつけるという方法ではなく、複数の露店や商店を回って、衣類を1枚1枚値段交渉しながら買いつけるという「クペレンバ (宝探し)」と呼ばれる仕入れ戦略が採用されていた。このような時間のかかる仕入れ戦略が採用されている理由は、この取引は、隣国では需要がなく (よって安く販売されている) 商品であり、かつ自国では需要が高く (よって高く販売できる) 商品を探し出すことで、利益を得るというしくみで動いているためであった。この東アフリカ諸都市をむすぶ循環的な取引ネットワークは、結果として各国の国内市場における中古衣料品の価格の引き下げ、中古衣料品の流通を活性化していることが明らかになった。

(4) この交易ネットワークは、従来の越境交易を対象とした研究が指摘してきたような、エスニシティやナショナリティを共有する人びとのつながりでは動いていないこと、この交易ネットワークでは商品の違いと、エスニシティやナショナリティの違いとを結びつける実践によって動いていることが明らかになった。この交易では、「〇〇（民族・国籍）は、××（商品の種類やデザイン）が好きだ」というかたちで互いを揶揄する「冗談関係」が広くみられた。アフリカ都市研究では、多様な民族が混中する都市へと出稼ぎにきた異民族どうしの関係で、互いの違いを強制的に了解し、親密な関係を創り出す方法として、ステレオタイプ化されたエスニックジョークが用いられることが指摘されてきた。東アフリカ諸国間交易にみられる冗談関係には同様の効果が認められるとともに、商人たちが東アフリカ各国の消費者の嗜好の違いを瞬時に判断し、ニッチを分け合う方法としても機能していると考えられた。

(5) この交易ネットワークは、先進諸国からの中古衣料品と、新興国からの安価で粗悪な新品衣料品とを補完的に消費する各国の消費者の購買行動を反映して動いていることが明らかになった。中国・東南アジア製の新品衣料品はそれまで出回っていた新品衣料品と比べてデザインが良いという特長をもっていたが、その多くが偽ブランド品やコピー商品などをふくむ粗悪品であるという欠点を持っていた。そのため、新品衣料品の流入後、消費者は一部の中古衣料品を「古いが、品質の良いオリジナル品」として再評価した。一方で、質の悪い古着は、同じくらいの品質であれば、デザインの良い新品衣料品を購入したいという消費者が増加したために、市場を失った。現在、進展している東アフリカ諸国間の古着交易とは、この「デザイン性」に関わる各国間・地域間・民族間の好みの違いを活かして、自国で市場を失った古着を他国の商人へと販売することで流していく仕組みといえる。また一方の新品衣料品交易は、デザインに加えて各国・各地域の消費者の購買力の違いに応じた「品質」にかかわる需要の違いを反映して、自国の市場で値段が高すぎたり、品質が悪すぎて需要がなかったりして流通しない商品を、他国の市場において流通させる仕組みであるといえる。

以上の点から、現行の東アフリカ諸国間の交易ネットワークとは、零細商人たちが、東アフリカ各国政府の推進する東アフリカ共同体という「大きなローカル」内部のエスニック／ナショナルな違い、購買力の違いを交易に活かすことで、特定の国に輸入されたす

べての衣料品を流通させる、新たな経済文化圏を創り出す動きとしてみるができることが明らかになった。つまり、末端商人たちは、先進諸国と新興国アフリカ市場獲得競争を受けて東アフリカ諸国が押し進めている東アフリカ関税同盟の再結成（ローカル化）を受けて、その「ローカル」を舞台に、独自のグローバルな衣料品交易ネットワークを再編（再グローバル化）しつつある。しかしこの再グローバル化は、その内部に小さなローカルを創りだしていくプロセスでもある。本研究では、東アフリカ諸国間交易を、複層的なグローカリゼーションの進展としてみる視座を提示した。

これらの成果は、国内外の学会・ワークショップにおいて口頭発表したほか、今年度中にいくつかの論文が公開予定である。また、中古衣料品流通に関する国際シンポジウムの成果論文集を2012年度中に刊行予定である。

5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計3件）

- ① Sayaka OGAWA “The Social Space of Street Trading: With Special Reference to the Reasons of Riots” In *Kimambo, Maghimbi and Sugimura eds. Comparative Perspectives on Moral Economy: Africa and Southeast Asia*. Dar es Salaam University Press, 2011, pp. 228-245. (査読なし)
- ② 小川さやか 「タンザニア都市零細商人の瀬戸際の狡知—ウソと時間をめぐる—考察」『歴史と民俗』（神奈川大学常民文化研究所）、28巻、2011年、pp. 97-125. (査読あり)
- ③ 小川さやか 「あんたはウジャンジャ」『月刊みんぱく』第34号、9月号、2010年、pp. 22-23. (査読なし)

〔学会発表〕（計8件）

- ① 小川さやか 「(招待講演) 瀬戸際の狡知—不確実性を希望に変えるために」交易財団法人サントリー文化財団記念講演、2012年3月28日、サントリーアネックス。
- ② Sayaka OGAWA “The Trans-Border Trading of Second-hand Clothing and Copy Products in East Africa,” In *International Workshop: Consuming Textile through their Uses and Reuses*, 2012年2月7日、国立民族学博物館。
- ③ Sayaka OGAWA “Regaining the Value of the Fashion: The Trans-border Trading

of Second-hand Clothing in East Africa,” In *International Workshop : World History of Second-hand Circulation*, 2012年2月4日、東京大学。

- ④ 小川さやか「基調講演：セカンドハンド／バツタ品の人類学—東アフリカ諸国間交易の動態を事例に」、アジア・アフリカ学術基盤形成事業「伝統的生活様式の崩壊と再宗教化をめぐる現代アフリカにおける宗教動態 第4回国際シンポジウム「再生としてのアフリカ独立50周年」、2011年10月9日、名古屋大学。
- ⑤ Sayaka OGAWA “Re-globalization through the Trans-border Trading of Used-clothing in East Africa.” In *Border Regions in Transition (BRIT) XI*, 2011年9月6日、ジュネーブ大学。
- ⑥ 小川さやか「モードを生み出す「ネズミの道」—東アフリカ諸国間交易によるナショナル／エスニックな流行の創出」、日本文化人類学会第45回研究大会、2011年6月11日、法政大学。
- ⑦ 小川さやか「アフリカ都市零細商人の商慣行に関する文化人類学的研究」、日本文化人類学会近畿地区博士論文発表会、2010年7月3日、立命館大学。
- ⑧ 小川さやか「都市を生きぬくための狡知」、日本アフリカ学会第47回学術大会、2010年5月30日、奈良文化会館。

〔図書〕(計1件)

- ① 小川さやか『都市を生きぬくための狡知—タンザニア零細商人マチंगाの民族誌』2011年、387頁、世界思想社。

〔その他〕

ホームページ等

<http://www.minpaku.ac.jp/research/activity/organization/staff/ogawa/index>

報道関係

- ① 小川さやか「連載ニューエイジ登場 狡知と助けあいを回すしくみ」週刊読書人 2012年3月20日
- ② 小川さやか「ときめきカフェ」しんぶん赤旗日曜版 2012年2月5日
- ③ 小川さやか「次世代人」読売新聞 2012年2月4日
- ④ 小川さやか「タンザニアの路上商人 学ぶべき、したたかな知恵」産経新聞 2012年1月23日
- ⑤ 小川さやか「トーク&トーク みんなで生きぬくタンザニアの行商人」毎日新聞 2012年1月20日
- ⑥ 小川さやか「ひと」朝日新聞 2011年12

月13日

6. 研究組織

(1) 研究代表者

小川 さやか (OGAWA SAYAKA)

国立民族学博物館・研究戦略センター・
機関研究員

研究者番号：40582656